



いぶきやま 秋の実りに向けて 一さつまいも畑から

雨が少なく、暑さも厳しい夏。大きく育つかな…そんな想いを込めて、今日も草むしり。



広報

こほくかい

秋

号

○発行／湖北会 広報室(法人本部)

○住所／滋賀県長浜市富田町431番地5

○発行者／北野 憲一

○発行日／令和7年8月25日

理事長再任のご挨拶



社会福祉法人湖北会
理事長
北野 憲一

この度、令和7年6月11日の理事会で、引き続き理事長を務めさせていただくことになりました。至らない点多々あるかと存じますが、皆様のご期待に応えられるよう、これまで以上に精一杯努めてまいります。

現在、物価高騰や人材不足など、法人を取り巻く環境は厳しい状況でございます。この難局に対応した事業展開を視野に入れ、「利用者を中心に据えた支援」をキーワードに掲げ、利用者様や地域の皆様から一層信頼される法人を目指し、役職員一同、心をつなげて日々の実践を積み重ねていく所存ですので、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

また、前任期までそれぞれの役割を担っていただきました、理事の高宮弘子様、中川秀子様、監事の西村みち子様、評議員の川合行雄様、高木ひとみ様、森田英子様、廣部智子様、高山徹様におかれましては、この度ご退任されることになりました。長年のご尽力に対し、心より感謝申し上げます。



社会福祉法人湖北会 役員・評議員 名簿

(理事・監事任期：令和7年6月11日～令和9年に開催する令和8年度のものに関する定時評議員会の終結まで)
(評議員任期：令和7年6月11日～令和11年に開催する令和10年度のものに関する定時評議員会の終結まで)

令和7年6月11日《順不同:敬称略》

役職名	氏名	役職名	氏名
《理事：定員6名／現員6名》		《評議員：定員7名／現員7名》	
理事	北野 憲一	評議員	高畑 昌子
理事	森田 英子	評議員	今 莊 優
理事	磯野 正明	評議員	西田 恵子
理事	吉田 裕明	評議員	西村 りう子
理事	大岡 賢至	評議員	織田 里美
理事	服部 美穂	評議員	木村 寛子
《監事：定員2名／現員2名》		評議員	西山 和秀
監事	大塚 浩司		
監事	上野 高裕		

2024年度 社会福祉法人湖北会 事業報告

総括

令和6年4月に行われた障害福祉サービス報酬改定では、障害福祉分野の人材確保やサービスの質の確保・向上を図る観点から経営実態を踏まえて事業ごとの収支差の是正を図るとともに、サービスの質等に応じたメリハリのある単価設定となりました。これらに対応すべく、経営者会、管理者会議、サービス管理責任者会議等において、報酬改定における新たな基準等について適切な対応が取れるよう検討しながら運営の改善を図りました。

人材確保につきましては、新たな取り組みとして、7月にびわこ学院大学に赴き、同大学を卒業した職員4名が障害者福祉の現状を説明しつつ、湖北会の職場紹介を行いました。また、福井県小浜市にある青池学園に在籍する外国人留学生2名と奨学金貸与契約を結び、留学生アルバイト職員としてあそしあで働き始めています。令和7年度はさらに2名の留学生の受け入れを湖北まこもで予定しており、準備を進めています。採用状況につきましては、新卒者の応募はありませんでしたが、正規職員を5名採用しました。

サービスの質の確保については、強度行動障害のある方を多く受け入れている生活介護事業所において、本人の特性に応じた環境設定や関わり方ができるよう、外部の専門家のコンサルテーションを受け、助言を得ながら支援の改善に努めました。

また、職員研修として、指導的立場である管理職・主任者・職員を対象にそれぞれ研修を実施しています。全体研修としてはハラスメントについて研修を実施し、働きやすい職場環境としていくために、一人ひとりが意識を高めていく機会としました。

施設整備については、日本財団の助成を受け、建物が老朽化していたほっぷるの新たな活動場所として、湖北まこもの地域交流施設と旧作業棟を、強度行動障害のある方が過ごしやすい環境となるようリノベーションを行いました。



外国人留学生アルバイト
(あそしあ)



職場説明(びわこ学院大学へ)

法人単位資金収支計算書

(自)令和6年4月1日 (至)令和7年3月31日

(単位:円)

勘定科目	予 算(A)	決 算(B)	差 異(A)－(B)
就労支援事業収入	43,648,000	41,454,561	2,193,439
下請事業収入	20,737,000	20,990,733	△ 253,733
自主事業収入	6,911,000	7,515,246	△ 604,246
委託事業収入	16,000,000	12,948,582	3,051,418
障害福祉サービス等事業収入	1,601,322,000	1,597,962,590	3,359,410
自立支援費給付費収入	1,352,750,000	1,345,429,657	7,320,343
障害児施設給付費収入	29,530,000	29,439,059	90,941
利用者負担金収入	1,444,000	1,498,341	△ 54,341
補足給付費収入	13,076,000	13,762,280	△ 686,280
特定費用収入	108,918,000	112,246,527	△ 3,328,527
その他の事業収入	95,604,000	95,586,726	17,274
経常経費寄附金収入	168,000	1,352,160	△ 1,184,160
受取利息配当金収入	1,046,000	1,316,742	△ 270,742
その他の収入	9,562,000	10,146,071	△ 584,071
事業活動収入計 (1)	1,655,746,000	1,652,232,124	3,513,876
人件費支出	1,134,011,000	1,121,377,931	12,633,069
事業費支出	189,161,000	190,413,146	△ 1,252,146
事務費支出	164,537,000	165,120,837	△ 583,837
就労支援事業支出	43,648,000	42,247,875	1,400,125
就労支援事業販売原価支出	13,790,000	6,872,465	6,917,535
就労支援事業販売管費支出	29,858,000	35,375,410	△ 5,517,410
支払利息支出	1,483,000	1,438,626	44,374
その他の支出	7,227,000	6,718,146	508,854
流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0
事業活動支出計 (2)	1,540,067,000	1,527,316,561	12,750,439
事業活動資金収支差額(3)=(1)－(2)	115,679,000	124,915,563	△ 9,236,563
施設整備等補助金収入	62,525,000	62,525,000	0
施設整備等寄附金収入	0	0	0
施設資金借入金収入	0	0	0
固定資産取売却収入	1,795,000	1,795,000	0
その他の施設整備等による収入	0	0	0
施設整備等収入計 (4)	64,320,000	64,320,000	0
設備資金借入金元金償還支出	25,375,000	25,375,000	0
固定資産取得支出	180,163,000	174,753,524	5,409,476
ファイナンス・リース債務の返済支出	2,112,000	2,048,640	63,360
施設整備等支出計 (5)	207,650,000	202,177,164	5,472,836
施設整備等資金収支差額(6)=(4)－(5)	△ 143,330,000	△ 137,857,164	△ 5,472,836
積立資産取崩収入	64,900,000	5,360,976	59,539,024
その他の活動による収入	0	0	0
その他の活動収入計(7)	64,900,000	5,360,976	59,539,024
長期貸付金支出	0	1,540,000	△ 1,540,000
積立資産支出	8,766,000	18,266,225	△ 9,500,225
その他の活動支出計(8)	8,766,000	19,806,225	△ 11,040,225
その他の活動資金収支差額(9)=(7)－(8)	56,134,000	△ 14,445,249	70,579,249
予備費支出 (10)	1,811,000	0	1,811,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)－(10)	26,672,000	△ 27,386,850	54,058,850
前期末支払資金残高(12)	675,910,844	674,325,556	1,585,288
当期末支払資金残高(11)+(12)	702,582,844	646,938,706	55,644,138

法人単位事業活動計算書

(自)平成6年4月1日 (至)令和7年3月31日

(単位:円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増 減(A)－(B)
就労支援事業収益	41,454,561	36,207,226	5,247,335
下請事業収益	20,990,733	16,487,741	4,502,992
自主事業収益	7,515,246	6,932,644	582,602
委託事業収益	12,948,582	12,786,841	161,741
障害福祉サービス等事業収益	1,597,962,590	1,518,440,731	79,521,859
自立支援給付費収益	1,345,429,657	1,263,677,476	81,752,181
障害児施設給付費収益	29,439,059	32,961,402	△ 3,522,343
利用者負担金収益	1,498,341	1,453,548	44,793
補足給付費収益	13,762,280	12,406,674	1,355,606
特定費用収益	112,246,527	110,952,985	1,293,542
その他の事業収益	95,586,726	96,988,646	△ 1,401,920
経常経費寄附金収益	1,352,160	3,415,700	△ 2,063,540
サービス活動収益計 (1)	1,640,769,311	1,558,063,657	82,705,654
人件費	1,130,723,914	1,107,349,783	23,374,131
事業費	190,413,146	175,424,108	14,989,038
事務費	165,120,837	146,370,112	18,750,725
就労支援事業費用	42,810,772	38,015,965	4,794,807
就労支援事業販売原価	7,435,362	6,380,534	1,054,828
就労支援事業販売管費	35,375,410	31,635,431	3,739,979
減価償却費	125,671,836	125,983,660	△ 311,824
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 47,168,573	△ 46,652,000	△ 516,573
サービス活動費用計 (2)	1,607,571,932	1,546,491,628	61,080,304
サービス活動増減差額(3)=(1)－(2)	33,197,379	11,572,029	21,625,350
受取利息配当金収益	1,316,742	786,561	530,181
その他のサービス活動外収益	12,584,071	19,934,641	△ 7,350,570
サービス活動外収益計 (4)	13,900,813	20,721,202	△ 6,820,389
支払利息	1,438,626	1,622,013	△ 183,387
その他のサービス活動外費用	6,858,266	7,568,897	△ 710,631
サービス活動外費用計 (5)	8,296,892	9,190,910	△ 894,018
サービス活動外増減差額(6)=(4)－(5)	5,603,921	11,530,292	△ 5,926,371
経常増減差額(7)=(3)+(6)	38,801,300	23,102,321	15,698,979
施設整備等補助金収益	62,525,000	7,065,000	55,460,000
施設整備等寄附金収益	0	0	0
固定資産売却益	1,794,997	895,336	899,661
その他の特別収益	0	0	0
特別収益計(8)	64,319,997	7,960,336	56,359,661
固定資産売却損・処分損	481,836	238,331	243,505
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	0	0
国庫補助金等特別積立金積立額	59,760,000	4,300,000	55,460,000
その他の特別損失	0	0	0
特別費用計(9)	60,241,836	4,538,331	55,703,505
特別増減差額(10)=(8)－(9)	4,078,161	3,422,005	656,156
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	42,879,461	26,524,326	16,355,135
前期繰越活動増減額(12)	1,055,565,236	1,093,185,871	△ 37,620,635
当期末繰越活動増減額(13)=(11)+(12)	1,098,444,697	1,119,710,197	△ 21,265,500
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他積立金取崩額(15)	5,360,976	362,833	4,998,143
その他積立金積立額(16)	9,768,665	64,507,794	△ 54,739,129
次期繰越金活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)－(16)	1,094,037,008	1,055,565,236	38,471,772

法人単位貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

(単位:円)

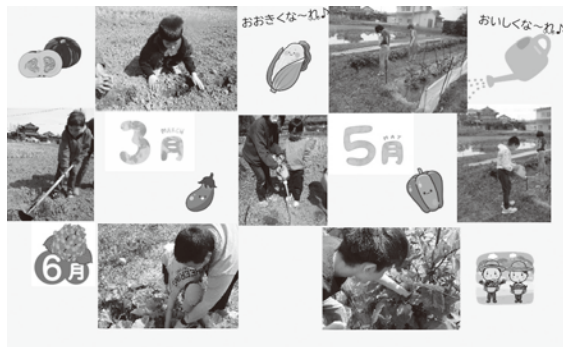
資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	725,657,490	771,401,754	△ 45,744,264	流動負債	153,745,139	174,335,422	△ 20,590,283
現金預金	405,345,590	453,951,752	△ 48,606,162	事業未払金	77,575,120	80,372,074	△ 2,796,954
事業未収金	278,217,655	274,464,093	3,753,562	1年以内返済予定設備資金借入金	24,050,000	25,375,000	△ 1,325,000
未収金		30,000	△ 30,000	1年以内返済予定リース債務	2,048,640	2,048,640	0
未収補助金	30,000	904,000	△ 874,000	預り金	43,385	13,313,333	△ 13,269,948
商品・製品	48,775	121,120	△ 72,345	職員預り金	0	1,748,924	△ 1,748,924
原材料	1,051,504	1,520,747	△ 469,243	賞与引当金	50,027,994	51,477,451	△ 1,449,457
立替金	37,831,414	35,711,214	2,120,200				
前払費用	3,132,552	4,698,828	△ 1,566,276				
仮払金	0	0	0				
固定資産	3,155,266,191	3,093,782,962	61,483,229	固定負債	370,964,118	390,105,758	△ 19,141,640
基本財産	2,345,084,233	2,301,188,487	43,895,746	設備資金借入金	243,858,000	267,908,000	△ 24,050,000
土地	13,100,000	13,100,000	0	リース債務	4,609,440	6,658,080	△ 2,048,640
建物	2,330,984,233	2,287,088,487	43,895,746	退職給与引当金	122,496,678	115,539,678	6,957,000
定期預金	1,000,000	1,000,000	0				
				負債の部合計	524,709,257	564,441,180	△ 39,731,923
その他の固定資産	810,181,958	792,594,475	17,587,483				
建物	55,042,703	52,272,035	2,770,668	純 資 産 の 部			
構築物	40,944,321	45,883,151	△ 4,938,830		当年度末	前年度末	増減
機械及び装置	3	3	0	基本金	463,338,423	463,338,423	0
車輛運搬具	35,626,040	26,476,912	9,149,128	基本金	463,338,423	463,338,423	0
器具及び備品	19,943,662	19,503,604	440,058				
建設仮勘定	0	0	0	国庫補助金等特別積立金	1,274,175,956	1,261,584,529	12,591,427
有形リース資産	6,658,080	8,706,720	△ 2,048,640	国庫補助金等特別積立金	1,274,175,956	1,261,584,529	12,591,427
無形リース資産	0	0	0				
ソフトウェア	2,286,167	2,924,167	△ 638,000	その他の積立金	524,663,037	520,255,348	4,407,689
投資有価証券	50,000	50,000	0	工賃変動積立金	9,740,532	9,599,743	140,789
長期貸付金	1,540,000	0	1,540,000	設備等整備積立金	1,134,744	1,134,744	0
退職共済預け金	122,496,678	115,539,678	6,957,000	人件費積立金	50,000,000	50,000,000	0
工賃変動積立預金	9,740,532	9,599,743	140,789	修繕費積立金	399,826,635	399,826,635	0
設備等整備積立預金	1,134,744	1,134,744	0	備品購入積立金	63,961,126	59,694,226	4,266,900
人件費積立預金	50,000,000	50,000,000	0				
修繕費積立預金	399,826,635	399,826,635	0	次期繰越活動収支差額	1,094,037,008	1,055,565,236	38,471,772
備品購入積立預金	63,961,126	59,694,226	4,266,900	(うち当期活動収支差額)	42,879,461	26,524,326	16,355,135
長期前払費用	0	0	0				
その他固定資産	931,267	982,857	△ 51,590				
				純資産の部合計	3,356,214,424	3,300,743,536	55,470,888
資産の部合計	3,880,923,681	3,865,184,716	15,738,965	負債及び純資産の部合計	3,880,923,681	3,865,184,716	15,738,965

あ〜と

季節の恵みを育てています 〜夏野菜の成長記録〜

ジャガイモの隣では、ナスやピーマン、カボチャ、トウモロコシといった夏野菜たちも植え付けを行い、初夏の日差しを浴びて青々とした葉を茂らせています。

現在は定期的に畑の様子を確認しながら、水やりや除草作業などの手入れを行っています。今年はどのような収穫が期待できるのか、今から楽しみです。



地域交流ホーム ほっふる

セブンイレブンの 訪問販売カーが来ました!

6月25日、湖北まこも・地域交流ホームほっふるにセブンイレブンの訪問販売カーが来てくださり、入所利用者・通所利用者の皆さんがお買い物を楽しめました。



普段は、なかなか外出してお店に行ってお買い物が難しい中、こうして施設まで商品を届けていただけることで、利用者の皆さんにとっては貴重な「お買い物体験」の機会となりました。

おにぎりやパン、お菓子、飲み物など、ずらりと並んだ商品を前に、「どれにしようかな」と真剣に選ぶ姿や、「これおいしそう!」と笑顔を見せる姿が印象的でした。

自分で商品を選び、会計をするという一連の流れは、楽しみながら生活の力を育むことにもつながります。訪問販売カーのスタッフの皆さんも、丁寧に対応してくださり、安心して買い物を楽しむことができました。

今後もこうした機会を大切にし、利用者の皆さんの楽しみや豊かな日常を支えていければと考えています。

強度行動障害者支援の充実

強度行動障害のある方々への支援は、一人ひとりの特性や行動の背景に向き合いながら、個別性の高い支援を継続していくことが求められる専門性の高い取り組みです。湖北会の各事業所では、こうした支援の充実に向け、日々試行錯誤を重ねながら取り組んでいます。

私たちはまず、「安心して過ごせる環境づくり」を大切にしています。スケジュールを明確にし、視覚的な手がかり(写真や絵カードなど)を活用することで、生活の予測性を高め、不安や混乱を軽減できるように支援しています。また、「できること」や「わかること」に焦点を当てることで、小さな成功体験を積み重ね、自信や安心感につなげていく支援を心がけています。

しかし、支援の現場では多くの課題にも直面します。

そのひとつが、支援の統一の難しさです。利用者の状態や反応は日々変化するため、支援方針をチーム全体で共有し、対応を一致させることには常に工夫が必要です。職員同士の連携を密にし、継続的な話し合いやケース会議を通じて、支援の一貫性を保つよう努めています。

また、活動のバリエーションを増やすことも簡単ではありません。利用者の安心・安全を守りながら、無理のない範囲で新しい体験や楽しみを提供するには、タイミングや内容を丁寧に調整する必要があります。日々の積み重ねの中で、少しずつ新しい活動への広がりをつくっていくよう意識しています。

さらに、外部の専門家によるコンサルテーションも積極的に取り入れています。第三者の視点からの助言を受けることで、施設内では気づきにくい改善点や支援の方向性を見直すきっかけとなり、職員の学びや支援力の向上にもつながっています。

強度行動障害のある方々にとっての「安心」と「自分らしさ」を支えるために、私たちはこれからも学びを止めることなく、一人ひとりにとって最適な支援のあり方を追求し続けてまいります。

構造化とは・・・

混乱や不安を軽減し行動の安定を図るために、環境やスケジュール、活動の流れなどを視覚的にわかりやすく伝えます。

構造化を通じてわかりやすく、見通しがもてる環境をつくり、不安や混乱を減らし、落ち着いた生活ができるようにします。



構造化の一例

①スケジュール

絵や文字、写真などを使って一日の活動内容や流れを示します。

②作業システム

カゴ3つ、上から下に作業を進めます。何をどう進めるか一目でわかります。

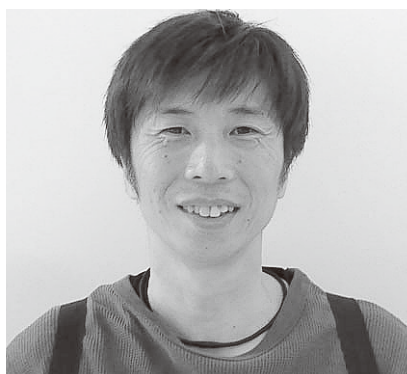
③手順カード

左から右に、手順をイラストでわかりやすく伝えます。

新顔登場

新入職員紹介

- ①出身市 ②配属先
③趣味・特技
④入職にあたっての抱負



いわさき のりひこ

岩崎 紀彦

- ①長浜市
②あそしあ
③カラオケ・映画・海外ドラマ・阪神タイガース
④7月1日付で湖北会の一員となりました。諸先輩方のご指導ご鞭撻に本当に感謝しております。

まだまだ至らぬ所ばかりですが、しっかり経験を積んでいき、まい進していく所存です。どうぞ宜しくお願いいたします。

ホームページ 採用情報サイトリニューアル

近年、福祉業界全体における人材不足という大きな課題に直面していることから、まず取り組むべきは「働く環境や魅力をより多くの方に知っていただくこと」と考え、ホームページのリニューアルに先立ち、採用情報サイトページの刷新を行っており、近日中に公開予定です。

新たな採用サイトでは、当法人で働く職員の声や現場の様子、キャリアパスの紹介、福利厚生や研修制度などをわかりやすく魅力的に伝える内容となっています。また、デザインや操作性も見直しています。

私たちは、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現には、何よりも「人の力」が欠かせないと考えています。今回のリニューアルを通じて、当法人の想いや魅力を一人でも多くの方に知っていただき、「ここで働いてみたい」と感じて頂けるよう、リニューアルを進めてまいります。

今回は、採用情報サイトを優先しました。

(<http://www.kohokukai.or.jp/index.php>)



シリーズ おすすめスポット vol.31

かまはじょう

中世の山城 国指定史跡 鎌刃城

住 所 滋賀県米原市番場
問合せ先 米原市米原1016 米原市役所生涯学習課
電話0749-53-5154
番場資料館 米原市番場1982



滋賀県湖北地方は、古代から渡来人の生活、交通の大切なところでした。

米原市を通っている中山道62番目の宿「番場」には、鎌刃城と呼ばれる城跡が残っています。この城は、歴史的には、織田信長や豊臣秀吉なども利用していた城で、近江の北半分の守護大名・京極氏の家臣、堀氏の城として知られています。彦根城などのように天守閣や建物は残っていないものの、石垣・堀切・曲輪などが見事に残り、その遺跡の規模は湖北でも最大級です。発掘調査がされると、国内でも珍しい物が沢山見つかっています。2005年に貴重な文化財として国指定史跡となり、2017年には続日本100名城にもなりました。

天気の良い日に鎌刃城に行くと、琵琶湖・長浜市街・彦根市街なども望めて、とてもきれいな景色が見られます。

ぜひ、運動を兼ねて鎌刃城へ登ってみませんか!

秋の気配はまだ少し先 ～暑さ対策は引き続き万全に～

まだまだ暑い日が続くようです。油断せずに、引き続き熱中症対策を心がけましょう。水分をこまめにとったり、無理をせず涼しい場所で休んだり、日ごろのちょっとした工夫が大切です。



熱中症を防ぐためにできること

☑ 日傘・帽子の着用



帽子や日傘で直射日光を避けることが大切です。可能なら帽子と日傘を併用しましょう。

☑ 日陰の利用、こまめな休憩



日陰を選んで歩いたり、日陰でこまめな休憩をとって、ムリをしないようにしましょう。

☑ 水分補給



室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じていなくても、こまめに水分を補給しましょう。

☑ 体を冷やす



保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、体を冷やしましょう。



① 室内の温度管理を徹底しましょう

室温は28℃を目安に設定し、エアコンや扇風機を活用して涼しい環境を保ちましょう。カーテンやすだれで直射日光を遮る工夫も効果的です。

② 水分補給は定期的に無理なく行いましょう

のどの渇きを感じる前の水分補給が大切です。ただし、味や温度の好みにより水分摂取を嫌がる方もいらっしゃいます。個々の状態に合わせた工夫（例：かき氷やゼリーなど）で、無理のない水分補給を心がけてください。

③ 無理な外出を避けましょう

外出はできるだけ朝や夕方の涼しい時間帯に行き、帽子の着用や日陰の活用を徹底してください。

～湖北会後援会より～

【湖北会後援会 入会御礼ならびに入会御願い】

湖北会後援会へご入会いただき誠にありがとうございます。令和6(2024)年度は、個人285名と会員の輪が広がり、法人ならびに事業所に利用者の生活・活動環境の向上に活用いただくよう、334,400円の助成を行うことができました。

利用者、家族間の力では解決できない問題に対して、法人はもとより湖北会後援会としても支援の輪を広げ、利用者の方々の喜びとゆしさ、そして感謝の気持ちをもって前へ進んでいきたいと思ひます。

今年度も新役員を中心に、引き続き入会の継続、新規の入会御願いを勧めて、少しでも会員の輪を広げていきたいと考えています。皆様の湖北会後援会へのご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

湖北会 後援会 の趣旨に賛同いただき、ご支援して下さる方々の後援会へ入会をお願い申し上げます。

個人会員 一口 1,000円
団体会員 一口 5,000円

郵便振替口座
00950-8 232378
名義 社会福祉法人 湖北会 後援会

編集後記

今年の夏は観測史上最速の梅雨明けを経て、一気に猛暑へと突入しました。短い梅雨のあとの急激な気温上昇は、例年以上に体への負担が大きかったように感じます。9月に入れば、秋の気配が感じられるようになるのでしょうか？残暑もまだまだ続くようです。涼しくなるまでは、引き続き熱中症対策を万全にして、健康に気を配りながら過ごしたいですね。どうか皆さま、季節の変わり目にも十分お気を付けください。

編集委員 中川